

**Citation:** Dedicoat M, Vaithilingum M, Newton R. Treatment of Kaposi sarcoma in HIV-1 infected individuals with emphasis on resource poor settings. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2003, Issue 3. Art. No.: CD003256. DOI: 10.1002/14651858.CD003256.

**CRG名:** HIV/AIDS

### [最新版\(英語版\)はこちら](#)

**英語版最終改訂年月:** 23 May 2003

**Clib issue No.;** N/U: 2007 issue 3; -

**背景:** 多くの国において、カポジ肉腫はヒト免疫不全ウイルス(HIV)1型感染者に最も一般的な悪性腫瘍であり、罹病率および死亡率の実質的な原因である。

**目的:** 本レビューは、資源の乏しい環境で利用可能な選択肢に焦点を当てて、HIV関連カポジ肉腫治療のための現治療レジメンの有効性を評価することを目的とした。

**検索戦略:** Cochrane HIV/AIDS Group trials register、Cochrane Central Register of Controlled Trials(コクラン・ライブラリ2002年第1号)、MEDLINE、EMBASE、AIDSLINE、CINAHL、CANCER LIT、AIDSDRUGS、AIDSTRIALS、African index medicus、physicians data query protocols、United Kingdom Co-ordinating committee on Cancer Research Register of Cancer trials、AIDSおよび癌学会の予稿集および抄録を検索した。検索は2001年10月1日より開始し2002年12月14日完了した。また、癌分野の専門家に問い合わせた。

**選択基準:** HIV感染成人患者におけるカポジ肉腫の治療に関するランダム化試験。

**データ収集と分析:** 全レビューアが試験の質を評価し、データを抽出した。その後追加された情報について研究著者に問い合わせた。

**主な結果:** 915例を対象とした5件の試験を含めた。進行したカポジ肉腫患者において、ドキシソルビシンペグ化リポソーム(PLD)と標準レジメンを比較していた499例を含む2件の試験を合わせて解析した。両レジメンの間で死亡率に差はなく、相対リスク(RR)は1.26(95%信頼区間(CI)0.83~1.91)であった。PLDに対する反応は、コントロール・レジメンよりも優れていた、RR 2.16(95% CI 1.68から2.78)。402例を含む別の2件の試験によって、皮膚カポジ肉腫患者においてアリトレチノイン局所投与はプラセボと比較して有効な治療法であることが示された。異質性のために結果は別々に解析し、それぞれのRRは(1)5.34(95% CI 2.16~13.21)、(2)1.96(95% CI 1.27~3.01)であった。最後の試験では、皮膚カポジ肉腫の治療について異なる放射線治療レジメンを比較していた。10分割20Gyまたは20分割40Gyに対する病変の初回著効は同等であり、8Gyを単回照射した病変よりも若干優れていた:RRはそれぞれ1.58(95% CI 1.01~2.48)および1.65(95% CI 1.06~2.57)。

**レビューアの結論:** アリトレチノイン・ゲルは皮膚カポジ肉腫の治療に有効であり、PLDは進行したカポジ肉腫の治療に有効である。放射線治療は皮膚病変の治療に有効と考えられる。放射線治療に関する試験を除くと、開発途上環境に適用可能な試験は同定されなかった。

(監訳 大平哲也)

翻訳公開日: 07年10月5日

ご注意: この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年4回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。